

## 注意事項について

### ■ 利用について

おでかけ応援カードは、満65歳以上の方が利用できるカードです。新たに65歳になる方のうち、65歳の誕生日を迎える前におでかけ応援カードが到着した場合は、65歳の誕生日を迎えてから使用してください(65歳の誕生日よりも前に使用した場合は通常料金になりますのでご注意ください)。

おでかけ応援カードは、本人に限り使用できます。他人への譲渡、貸与はできません。

おでかけ応援カードを他人へ譲渡、貸与するなど、不正に使用した場合、刑法により罰せられることがあります。また、不正に使用した方はおでかけ応援カードの使用及び今後の交付を停止する場合があります。

各種割引との併用はできません(例えば、障害者割引との併用はできません)。

一部路線では乗車時又は降車時のみのタッチとなる場合があります。

おでかけ応援カードと、他のICカードを重ねて使用しないでください。正常に読み取りできない場合があります。また、交通系ICカードと重ねて使用し、交通系ICカードで精算された場合は返金できませんので、ご注意願います。

※堺市乗合タクシーでは読取機がありませんので、運転手におでかけ応援カードを提示してください。また、堺市乗合タクシーの利用は、利用可能日数に含まれません。

### ■ カードについて

おでかけ応援カードにチャージ機能はありません。お支払いは現金のみです。バスカードや回数券などはご利用になれません。

おでかけ応援カードは、更新手続きは必要ありません。年度をこえて初めて利用される際に、車内の読取機で自動的に残日数の更新が行われます。

おでかけ応援カードは、住民基本台帳に基づき居住などの条件を確認しています。市外へ転出するなどにより交付対象者でなくなった場合、カードは使用できなくなりますので破棄してください。

カード不良や車両機器の異常などにより、おでかけ応援制度の適用を受けられない場合があります。

カード不良などがありましたら、堺市 交通政策課 (072-228-7756) までご連絡ください。

### 制度のお問い合わせ先

堺市 建築都市局 交通部 交通政策課 072-228-7756  
 公共交通課 072-228-7549  
 ファックス 072-228-8468

受付時間:  
 午前9時～午後5時30分  
 土日祝、年末年始を除く



### 路線バス、阪堺電車に関するお問い合わせ先

南海バス 営業課 072-221-0781 (9:00～17:45 土日祝、年末年始を除く)  
 近鉄バス 松原営業所 072-332-1160 (8:30～18:00 土日祝、年末年始を除く)  
 阪堺電車 営業課 06-6671-3080 (9:00～17:50 土日祝、年末年始を除く)

# おでかけ応援制度ご利用案内



この制度は、満65歳以上の堺市民の方が「おでかけ応援カード」を使うことにより市内の路線バスや阪堺電車を1乗車100円でご利用いただける制度です。高齢者の社会参加や公共交通の利用促進を目的に実施しています。



## 利用できる公共交通機関

南海バス、南海ウイングバス金岡、近鉄バス、阪堺電車で「乗るところ」か「降りるところ」のうち、少なくともどちらか一方が堺市内にある停留所(場)の場合にご利用いただけます。

利用の可否	使用停留所	例
○ 使えます	市内 ⇒ 市内	堺東駅前 ⇒ 堺駅前
○ 使えます	市内 ⇒ 市外	堺東駅前 ⇒ 河内松原駅前
○ 使えます	市外 ⇒ 市内	河内松原駅前 ⇒ 堺東駅前
× 使えません	市外 ⇒ 市外	河内松原駅前 ⇒ 高見の里駅前

- 市外バス停のうち、西我堂、岡町、松原市民運動広場、丹南は市内バス停として取り扱っています。
- 堺南港線(堺東・堺～ATC・海遊館)、高速バス、空港リムジンバス、深夜急行バス、深夜バスなどはご利用いただけません。

※堺市乗合タクシーでも「おでかけ応援カード」の提示で1乗車100円でご利用いただけます。堺市乗合タクシーは、ルート、停留所、ダイヤが決まられており、利用にあたっては予約が必要です。詳しくは、市役所市政情報センター、区役所市政情報コーナー、市ホームページ等で利用案内パンフレットをご覧ください。

## 利用できる日

すべての曜日で利用できます。 ※利用可能日数は年間240日

## 利用方法



乗車時と降車時に「おでかけ応援カード」を読取機に1秒以上タッチしてください。



残日数と運賃100円が運賃箱に表示されますのでご確認ください。



現金100円を運賃箱に入れてください。

※南海バスや阪堺電車直通乗継となる路線では、2乗車目の運賃が0円となる場合があります。1乗車目と2乗車目のそれぞれで乗車時と降車時にタッチし、運賃箱表示画面をよくご確認ください。なお、各社において乗継有効時間など、制度が異なる点がありますので、詳しくは南海バス、阪堺電車にお問い合わせください。